

千葉大附属の遊びの指導について

～「遊具反省」の作成・活用による持続可能な遊び場づくり～

千葉大学教育学部附属特別支援学校 小学部

本校の遊びの指導の概要

活動形態

自由遊び+設定遊び

児童が自分の意思で好きな遊びを行う自由遊びをメインに、授業の合間に、教師が主導し、遊び方の手本を示すなどする設定遊びを行う。

活動内容

体育館/グラウンド

多様な遊び 運動/感覚/見立て/操作遊び
学部全体の活動

教師の支援観

子どもの遊びを支える + 学びを見取る

児童に遊びを教えるというより、児童の豊かな遊びを促し、そこで生まれる学びを見取る

現場の声

遊び場づくりでこんなことが難しい…

・遊具同士の関連性や、遊具単体での遊び勝手、大きさや距離感を考えながら遊具を作ること。

・期待する遊びの姿をイメージしながら遊び場のテーマを決めていくこと、出す遊具を考えること。

・そもそも、遊び場に携わるのが初めて

・単元を通して子どもの興味関心を引き出し、継続させていくためには…

・遊具づくりに必要な時間。
・安全管理や遊具の作り方について、新しく来た先生に伝えていくこと。

難しさのある遊び場づくりを、効率よく、質良く継続していくための一助となる手段として…

「遊具反省」を作成しています！

遊具反省の記載構成

遊具反省「水滑車」R5.10 操作



【遊具のサイズ】
 ・水を入れて運ぶ距離を短くするため、テーブルを設置し、その上に滑車を付けた。高い所から水入りのバケツが落ちてくると危険なため、足場の上450の高さまでしかバケツを運べない設計にし、テーブルにストッパー用の木材を設置した。ストッパーをしていると上から下に物が運べなくなるのが難点。
 ・ロープにガムテープを巻き、滑車を動きにくくした。力を入れてロープを引っ張る必要があるが、ロープから手を放してもゆっくり落ちてくるようになった。
 ・単純な上下のやり取りなので、テーブルは固定しなくても大丈夫であった。

【バケツを取り入れやすくするため、足場の上は滑車のロープに沿って透明板を外した。】

【引き出しやすい遊び】
 ・水や人形を上まで運び、とくに流して遊ぶ。
 ・ロープ操作をして、バケツの移動を楽しむ。

【場の配置との関連】
 ・ため池をそばに設置したことで、バケツですくってすぐに運べるようにした。
 ・といが両サイドにあり、すぐに流して遊べた。単純に高い所から水が落ちるとい遊びが子どもたちにはウケていたように感じた。
 ・水道や砂場が近くにあり、そこにバケツが持っていかれることで、水が運べなくなることがあった。

【その他】
 ・初めはS字フックをロープに設置していたが、子どもたちにとってバケツが取りにくく、L字金具に変更した。先端には少し山を設置。
 ・上にあげたバケツを下に戻すのがなく、投げ落とす児童がいた。

【遊具のサイズ】

→実際の遊具の大きさの他、設計上の工夫点や安全処理の注意事項などを記載しています。

【引き出しやすい遊び】

→児童の遊びの様子を言語化。期待できる遊びの姿として、単元づくりや児童一人一人のねらい設定の参考になります。

【他の遊具との関連性】

→近くに設置された遊具と関連させて遊んだ児童の様子や、関連させて遊びやすいように工夫した点などを記載しています。

※その他、反省点や引継ぎ事項が追記されたり、遊具画像に作り勝手が注釈されたりします。

これを見れば、たいていの人が、その遊具を作成できる！

遊具反省の活用例

○単元づくりでの活用例



単元担当職員脳内の次単元のイメージ

単元テーマ設定や構想構築の一助になる。

○遊具づくりでの活用例

遊具づくりに必要な材料や道具、備品の保管場所が一目で分かり、出来上がりのサイズ感もわかるので、事前の準備がしやすい。

初めての遊び場づくりで遊具の担当者になったが、遊具反省を参考にしたら、一人でも作ることができた。

「こうしたらもっと遊びやすかった」、「遊びにくさをこうやって解消した」などの前任者の記録を見て、これまで場に出たことのある遊具でも、改良したり、児童の実態に合わせた工夫を施すことができた。

児童が遊ぶ様子がイメージしやすいので、単元ごとの遊具サイズや強度の変更、よりよい配置を考えるきっかけになる。

一度作って失敗した所を遊具反省に記録したことで、次単元で遊具を作る際の改善の役にたった。

単元終了後のまとめ

- ・改良点や反省点を遊具反省に追記する。デザインや作り勝手がこれまでと大きく異なる場合は、新しいスライドにまとめる。
- ・児童が遊ぶ様子に応じ、単元中に遊具に改良を加えた箇所を記載する。
- ・遊具作成時及び解体時の遊具、児童が遊んでいる様子などを写真資料として掲載する。作った素材の種類や、素材の保管場所も記録する。
- ・次回、遊具担当になった職員が見て、同じように作れるように…

成果として…

- ・熟練者の異動、新任者の割合増加の傾向の中でも、遊具作りのノウハウが継承され、遊具作成にかかる時間を短縮することができた。
- ・+αの発展的な構想を持った遊具を作成することができた。